

これまでの議論で浮かび上がってきた 権現荘の疑惑

新支配人採用後、なぜ巨額の赤字が続くのか。権現荘の管理・運営はどうなっているのか。6月、9月定例会でも取り上げました。市議会の議論の中で次第に明らかになってきたことがあります。

特別室で寝泊り

支配人は、夏は月20日以上、宿泊客の少ない時は月10～10数日、特別室に泊まっていたと答弁しています。年間200日位泊まっていたとのこと。災害等の誘導のためなどと言っていますが、そうであれば、お客さん

相手に酒等飲めないはず。特別室は、1泊食事なし料金5,000円+加算使用料5,100円、計10,100円の特別室です。食事料金はこれに加算されます。

権現荘の板長さんの場合、まだ住むところが決まっていなかった時、古い本館に泊まっていた。宿泊料として月2万円払っていたとのこと。この件の質問には、業務として泊まっていたので問題ないとの答弁ですが、宿直はシルバー人材センターにたのんでいます。人員を増やせば良いのではないのでしょうか。

権現荘の板長さんの場合、まだ住むところが決まっていなかった時、古い本館に泊まっていた。宿泊料として月2万円払っていたとのこと。この件の質問には、業務として泊まっていたので問題ないとの答弁ですが、宿直はシルバー人材センターにたのんでいます。人員を増やせば良いのではないのでしょうか。

権現荘の板長さんの場合、まだ住むところが決まっていなかった時、古い本館に泊まっていた。宿泊料として月2万円払っていたとのこと。この件の質問には、業務として泊まっていたので問題ないとの答弁ですが、宿直はシルバー人材センターにたのんでいます。人員を増やせば良いのではないのでしょうか。

ワインはどこへいった 会計にのらない食材

支配人が日本酒、ワイン、刺身やフルーツ盛り合わせ等、数百円から2万円の間で、お客様にサービスしていた問題、柵口温泉特別会計のどこにも記載されていません。

部長も能生事務所長も知らなかった、今年3月の予算審査の中で知ったということですが、支配人の裁量権に入るものだから問題ないとのこと。食材管理は支配人の権限、食材をサービスしており、公会計は現金主義だからサービスは記載しなくて良いのだそうですが、はたしてそうでしょうか。

食材の仕入れ代として代金は支払われているはず。日本酒、ワイ

ン、刺身やフルーツ盛り合わせ等はどこへいったのでしょうか。

支配人が自らの判断で行ったというサービスは、はたしてどれだけあったのか。記載しなくて良いのですから実態はわかりません。支配人の記憶には糸魚川市内のサービスは封印されているようです。市外は一部明らかにしています。

はっきりしているのは、権現荘の食材費は高い数値で推移しているということです。売上原価率は通常より10%以上高くなっています。食材費に疑惑の眼が向けられるのも当然ではないでしょうか。

何より問題なのは、市民の莫大な税金が投入されている権現荘の会計に、計上しなくて良いお金があるということです。考えられません。

権現荘の食材費は高い数値で推移しているということです。売上原価率は通常より10%以上高くなっています。食材費に疑惑の眼が向けられるのも当然ではないでしょうか。

権現荘宿泊客数、食材料費、売上原価率、収支、人件費等の推移

金額の単位は千円です

会計年度4月～3月	宿泊客数(人)	宿泊料金(千円)	食堂等利用料(千円)	食堂等利用(千円)	宿泊・食堂等計(千円)	食材料費(千円)	売上原価率(%)	収支(千円)	人件費(千円)
2005 (H17)	15,793	142,883		36,171	179,054	68,902	39.46	5,665	81,178
2006 (H18)	14,989	136,763		37,101	173,864	63,219	37.99	574	79,090
2007 (H19)	14,763	132,719		37,810	170,529	52,431	33.58	△ 7,288	82,151
2008 (H20)	12,968	125,539		37,363	162,902	55,632	35.76	△ 7,492	78,999
2009 (H21)	12,452	120,368		34,985	155,353	55,313	36.50	△15,398	74,123
2010 (H22)	9,068	96,207		35,477	131,684	54,122	41.16	△39,191	66,797
2011 (H23)	11,201	118,864		40,227	159,091	63,198	41.03	△18,534	65,184
2012 (H24)	11,291	56,178	111,466		167,644	52,974	34.19	1,325	63,666
2013 (H25)	10,837	56,321	110,655		166,976	54,327	34.80	168	65,036
2014 (H26)	9,005	48,776	97,267		146,043	50,461	36.13	△15,518	59,011
2015 (H27)	10,017	53,318	118,294		171,612	65,405	38.73	△23,734	64,043

※各年度の柵口温泉事業決算書 柵口温泉権現荘経営計画 H22.2.1 能生事務所資料・総務文教常任委員会提出

H20～27年度予算決算状況 H28.8.3 能生事務所資料・総務文教常任委員会提出 等参照

※金額は千円未満四捨五入 売上原価率(食材料費+売店事業費)÷収入は通常25～27%とされています。(権現荘の売上原価率は、資料をもとに新保が計算しました)

※2011年度(H23)までの食堂等利用はレストラン、宴会等の収入で、宿泊料金は部屋代、食事代込みとなっています。2012年度(H24)から宿泊料金は部屋代だけとなり、食事料金は食堂等利用料に含まれています。

宿泊客数は1998年(H10)の25,860人を境に減り続けています。

宿泊客が減っても食材料費は減っていません。

収支は赤字続きとなっています。新支配人採用後の7年間で1億1千万円の赤字をだしています。

人件費は減っています。

権現荘問題を考える

- つぎのような現状の中で、支配人のサービスが行われていました。
 - ①権現荘の料金は、条例では部屋代だけ決められ、食事は別になっている。
 - ②棚卸しが、年1回しか行われていない
 - ③賞味期限切れ等の食材の廃棄伝票がない
 - ④部門別(宿泊部門、温浴部門、飲食部門等)の管理がしっかりやられていない
 - ⑤支配人が行ったというサービスを記録として残す仕組みがないこれでは、食材の紛失がわからないのではないのでしょうか。

ブラック企業並みの残業

労働基準監督署が信じられないというほどの残業時間。平成27年度、1,000時間を超える残業をした職員が3名。最多が1,579時間、次に1,238時間、1,001時間と続きます。

権現荘のリニューアルということもあったのですが、ブラック企業並みです。労働基準監督署の是正勧告が出されました。健康面も含め残業のあり方をきちんと検証する必要があります。

その他にも、カード、現金入りの忘れ物のバックを6か月以上放置していた問題もあります。遺失物法違反になりかねません。

市営旅館としての信用が問われる問題です。

(株)東食品旧工場の競売、新会社で操業

倒産した株式会社東食品の旧工場が競売にかけられ、東京の石丸水産株式会社が7月21日に3回目の入札により落札。石丸水産KK、上越水産KK、ミタカホールディングスの3社により設立される株式会社イシマル(本社糸魚川市内)が、石丸水産KKより株式会社東食品旧工場を取得し、11月操業開始予定とのことです。当初5~6名で操業を始めて10~15名雇用予定とのことです。

不祥事の教訓が

生かされていない

(株)クリエイトワンフーズの新工場建設中止問題。用地購入関連で2億円弱の市費が投入されました。会社の経営状況を問う質問に、会社の内部問題だからととともに答えませんでした。50人の雇用に惑わされて。会社設立1年後に倒産。

東中、糸中の給食不正経理で1,500万円横領、能生学校給食センターの不正経理で1,000万円横領等つづく中で、不祥事防止のための行動指針やチェックリストがつくられました。これらが生かされているのでしょうか。残念ながら「臭いものにはフタ」の体質が改善されていないようです。

新幹線の騒音振動問題で質問

6月定例会

しんぼ 補償の関係で、補償の範囲が狭すぎる、手続きが面倒過ぎる、改善するように言ってもらいたい。

答 鉄道・運輸機構なりのほうへ要請してまいりたい。

しんぼ 手続きを簡略化すると同時に流れをうまくいくように説明願いたい。

答 個人だけでなく、業者の皆さんもわかりやすく申請が進まないという状況も聞いているので、丁寧にわかりやすく説明するよう、市のほうも協力してまいりたい。

行政目的は何か

権現荘の本館は、小学校施設を利用した小・中・高生の集団宿泊教育活動、社会教育活動を目的にした自然教育センターとしてスタートしました。

その後、地域住民の福祉及び都市と農山村の交流促進に資するためとして、権現荘新館(西館)と別館(東館)が建設されました。

事業そのものの存在意義が乏しい

平成22年3月31日付けの糸魚川市第三セクター等経営検討委員会報告では、権現荘に対して「行政目的のための事業そのものの存在意義」が乏しい。直営をやめたうえで、指定管理に早期に移行し、その数年後には民営化をはかるべきであると指摘されています。

民間から支配人を採用したが…

2009年(H21)4月から経営再建のために民間から支配人を採用し、民間手法を取り入れて赤字の改善をはかろうとしましたが、さらに悪化しています。

柵口温泉権現荘の収支

市職員支配人時より赤字拡大

年	収支
2005年(H17)	5,665千円の黒字
2006年(H18)	574千円の黒字
2007年(H19)	7,288千円の赤字
2008年(H20)	7,492千円の赤字

民間から新支配人採用

1年目 2009年(H21)	15,398千円の赤字
2年目 2010年(H22)	39,191千円の赤字
3年目 2011年(H23)	18,534千円の赤字
4年目 2012年(H24)	1,325千円の黒字
5年目 2013年(H25)	168千円の黒字
6年目 2014年(H26)	15,518千円の赤字
7年目 2015年(H27)	23,734千円の赤字

市が旅館を経営する時代ではない

市が旅館を経営する時代は終わったのではないのでしょうか。市内には約30軒の旅館・ホテル・民宿があります。市は旅館経営から手を引き、市内の旅館・ホテル・民宿支援にこそ力を入れるべきではないか。

地域振興や雇用を言うのであれば、地域の資源を活用した起業支援強化、地域産業振興の抜本的強化で雇用の拡大に取り組むことが常道ではないのでしょうか。

しんぼ峰孝の市議会報告

2016年
9月11日

編集 日本共産党糸魚川市議会議員
・ 新保峰孝 一の宮5-2-33
発行 電話 fax 共 025-552-7155